

【自由研究発表A】 10月9日(土) 午前(10:00~12:30)

自由研究報告について

今大会から自由研究報告には各分科会にコメンテーターを配置します。
コメンテーター、司会者については確定したところから、ホームページにて掲載していきます。
各分科会での報告が終了した後、25分間の「全体討議」を導入します。
各報告者は必ず最後まで会場に残って、全体討議に参加してください。
また今大会は会場の都合から、パワーポイントなどプロジェクターの使用ができません。

自由研究報告A 10月9日(土)

第1報告	10:00~10:25
第2報告	10:25~10:50
第3報告	10:50~11:15
第4報告	11:15~11:40
第5報告	11:40~12:05
全体討議	12:05~12:30

※下記の一覧の掲載順が、当日の報告の順番になります

歴史1	北館	6A 教室
・アメリカ社会事業史におけるホイットニー・ヤングの位置づけ ー公民権運動と専門社会事業ー	西崎 緑	福岡教育大学
・石井十次と「社会主義」との出会い	片山 貴夫	吉備国際大学大学院
・大林宗嗣における女性福祉論 ー女性解放に向けた女子教育・婦人労働のあり方についてー	梅木 真寿郎	同志社大学大学院
・シオフィユの幼きイエズス修道会の明治14年度活動報告書	赤岩 保博	児童養護施設マリア園
・久布白落実と婦人参政権獲得運動ー1920年代を中心にー	嶺山 敦子	関西学院大学大学院
制度・政策1	北館	8A 教室
・プログラム理論・エビデンス・実践間の円環的対話による、効果的福祉実践プログラムモデル形成のための評価アプローチ法の開発	大島 巖	日本社会事業大学
・障害者就労移行支援事業の形成的プログラム評価と利用者の希望を実現する効果的なプログラムモデルへの再構築ー円環的対話による評価アプローチ法(CD-TEP法)の適用ー	小佐々 典靖	日本社会事業大学
・障害者権利条約 第33条 国内における監視について	勝又 幸子	国立社会保障・人口問題研究所
・障害者自立支援政策の考察ー社会保障審議会の議論を中心にー	今井 慶宗	鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校
・精神障害者退院促進支援事業の形成的プログラム評価と活用可能な効果的プログラムモデルの提案ー円環的対話による評価アプローチ法(CD-TEP法)の適用ー	道明 章乃	日本社会事業大学
児童福祉1	北館	8B 教室
・児童養護施設における児童指導員の専門性に関する研究	伊藤 わらび	三育学院大学
・児童養護施設における園芸活動実践研究	林 典生	南九州大学
・児童自立支援専門員及び児童生活支援員の育成及び養成 ー夫婦小舎制職員へのインタビューを手がかりにー	武 千晴	日本女子大学大学院
・子どもがイメージする『良い職員』の具体像 ー児童養護施設の卒園生に対するアンケートをもとにー	藤田 哲也	日本福祉大学大学院
・児童養護施設職員の働く問題に関する研究ー職務内容分析を通してー	片岡 志保	立教大学大学院

児童福祉2	北館	8C 教室
・里親支援機関事業の現状と課題	平田 美智子	和泉短期大学
・中国の里親養育文化を通して社会的子育てのあり方について考える	金 潔	岡山県立大学
・Barnardo's の養護実践ー大規模児童養護施設から里親ケア支援へー	山川 宏和	華頂短期大学
・市町村児童家庭相談担当者のコンペテンシーにかかるー考察	加藤 曜子	流通科学大学
・就学援助制度の実施体制ー子どもの権利保障の視点からー	小椋 佑紀	東洋大学福祉社会開発 研究センター
障害(児)者福祉1	北館	5ABC 教室
・高次脳機能障害者の地域生活をめぐる課題 ー高次脳機能障害者全国実態調査から探るー	小川 喜道	神奈川工科大学
・障害者通所施設における高次脳機能障害者支援	瀧澤 学	神奈川県総合リハビリ テーションセンター
・「気になる子ども」や障害のある子どもを含む保育における保育士の困り感変 容プロセスー保護者との関係に焦点をあててー	木曾 陽子	大阪府立大学大学院
・発達障害者を対象とした就労支援の現状と課題 ー就労移行支援事業所における実践を踏まえてー	太田 啓子	立命館大学
・障害をもつ乳幼児と親に向けての支援ネットワークに関する地域モデルの研究	川池 智子	佐賀大学大学院
障害(児)者福祉2	北館	5FG 教室
・政策立案への知的障害当事者参加・参画ー障害者計画／障害福祉計画への 参加・参画状況全国調査からー	遠藤 美貴	立教女学院短期大学
・障害者施策の推進に果たす地域自立支援協議会の役割と可能性 ーC 市地域自立支援協議会のとりくみの継続的比較ー	山本 雅章	日本福祉大学大学院
・知的障害者の「生活の自律」を前提とする福祉政策と支給決定システム ーアメリカ・カリフォルニア州の制度と実践を踏まえてー	岡部 耕典	早稲田大学
・障害者運動における葛藤問題 ー主体の変容と葛藤生起の関連性についての考察ー	大田 耀子	大阪府立大学大学院
・ダイレクトペイメントの日本への導入とその課題	西山 裕	北海道大学
高齢者保健福祉1	南館	501 教室
・地域システムへの介入が一般高齢者の介護予防サービスに及ぼす効果に関 する研究	川島 典子	筑紫女学園大学短期大 学部
・地域類型でみた大阪府各自治体の配食サービス事業 ー事業の現状と課題、方向性ー	松井 順子	兵庫県高齢者生活協同 組合
・「地域生活の質」に基づく高齢者の地域ケアの優先的課題 ーデルファイ法調査による評価結果からー	石黒 文子	愛知淑徳大学
・高齢者福祉業務における理想的な情報システムに関する考察ー地域包括セン ター業務の情報化を事例としてー	佐々木 直樹	岡山商科大学
高齢者保健福祉2	南館	502 教室
・都市部高齢者のボランティア活動の関連要因	岡本 秀明	和洋女子大学
・在宅健康高齢者の対人貢献における役割期待感に関連する段階的・探索的検 討：生活満足感およびポジティブな思考を基底とするパスモデル	三谷 勇一	大阪市立大学大学院
・対話・交流を行うボランティアに対する施設内高齢者のニーズと高齢者にみら れる特徴の関連	保科 寧子	埼玉県立大学
・生活時間アセスメントツールの開発と適用に関する検討	河原 智江	横浜市立大学
・要介護認定基準の変更と影響の検証ー2009年10月版と2006年版の比較ー	三宅 文枝	県立広島大学大学院

社会福祉教育・実習1	南館	702 教室
・認知症高齢者生活介護施設で働く介護職員の満足度と研修体制 －アンケート調査からの分析－	岡崎 昌枝	(社福) 救護施設 清水園
・重度知的障害者施設における相談援助実習プログラム開発に関する基礎的研究 －国立のぞみの園モデル構築に向けて(中間年度)－	原田 将寿	国立重度知的障害者総合施設のぞみの園
・社会福祉教育のナレッジデザインへの障害当事者の参画 －車椅子使用者と協働する授業－	吉村 夕里	京都文教大学
・小学校社会科における福祉関連教育の推進について	小田桐 忍	東京未来大学

【自由研究発表B】 10月10日（日） 午前(9:30～12:00)

自由研究報告B 10月10日（日）

第1報告	9:30～9:55
第2報告	9:55～10:20
第3報告	10:20～10:45
第4報告	10:45～11:10
第5報告	11:10～11:35
全体討議	11:35～12:00

※下記の一覧の掲載順が、当日の報告の順番になります

理論1	8号館	810 教室
・高石史人の『『信』の構造』による「仏教社会福祉」論に関する考察 －その問題点と可能性について－	澤野 純一	花園大学大学院
・ソーシャルワークにおける価値規範の問い直し －援助関係にみられるリベラルな公私区分に焦点を当てて－	高城 大	中保健福祉総合センター
・「福祉国家」概念の再検討－「福祉国家論」再考のための序論－	伊藤 新一郎	北星学園大学
・ニード論への批判的論考の考察－理論史的視野から－	安田 光良	日本福祉大学大学院
・Anthony Giddens の「第三の道」に関する議論についての一考察 －個人主義への対抗という視点から－	荒牧 孝次	首都大学東京大学院
歴史2	8号館	820 教室
・山形県下の方面委員会および講習会等について －大正14年から昭和16年を範囲として－	田中 利宗	名寄市立大学
・信州善光寺大勧進養育院の社会的意義－明治初期の救貧事業の生成と地域力－	中村 英三	常磐大学
・助成実績からみるインターメディアリー(資金仲介組織)としての恩賜財団慶福会 －原田積善会からの助成の意義と役割－	長谷川 真司	法政大学大学院
・ボランティアコーディネーションの変遷に関する一考察 －大阪市社協と大阪ボランティア協会の関係発展プロセスに着目して－	岩本 裕子	関西学院大学
・英国におけるホームヘルプ事業の展開 －1948～74年の医療・介護の関係をめぐる検討－	白瀬 由美香	国立社会保障・人口問題研究所
歴史3	8号館	823 教室
・戦前期社会事業論の系譜－大正半ばから昭和初期を中心に－	野口 友紀子	長野大学
・1920年代のハンセン病問題と社会事業(第5報) －治療解放主義の系譜(楽生病院)の検討－	平田 勝政	長崎大学
・法制定後、福祉事務所制度が発足するまでの難航－社会福祉事業法の公布(1951.3)後に何があったのか－	寺脇 隆夫	浦和大学

・戦後混乱期の養老院・養老施設にみるララ救援物資の実態	西田 恵子	常磐大学
・英国チャイルド・ケア・ポリシーにおける里親委託の優先に関する一考察 －戦時疎開における家庭委託の歴史的意義－	板倉 孝枝	京都府立大学大学院
制度・政策2	15号館	1512教室
・福祉ADR機関としてのNPOの可能性について	安東 千秋	智泉総合福祉専門学校
・日本の年金制度における脱商品化・脱家族化 －エスピン・アンデルセンの福祉レジームをもとに－	遠藤 康裕	首都大学東京大学院
・日常生活自立支援事業の生活保護受給者の利用者の特性と課題	手島 洋	県立広島大学
・労働災害に対する社会福祉の視座 －三池炭鉱三川鉱炭じん爆発事故被災者世帯の生活問題に着目して－	田中 智子	佛教大学大学院
・サービス提供責任者の就労環境と業務内容 －サービス提供責任者の業務時間の実態調査－	陳 燕	立教大学大学院
方法・技術1	7号館	713教室
・保健・医療・福祉専門職の連携・協働におけるソーシャルワーク視座の検討 －過疎地域における利用者システムの認識に着目して－	西内 章	高知女子大学
・ハイリスク利用者システムへのチーム・アプローチに関する研究(2) －チーム・アセスメント支援ツール開発を指向したヒアリング調査に基づく考察－	丸山 裕子	桃山学院大学
・わが国におけるピア・グループ・スーパービジョン実践について考える －文化的視点からの問題提示－	塩田 祥子	梅花女子大学
・精神障害者就労支援としての職業リハビリテーションとソーシャルワークの比較	御前 由美子	関西福祉科学大学大学院
・地域包括支援センター実践にみる地域包括ケアのあり方 －困難ケース解決と社会福祉協議会との協働事例を通じて－	加川 充浩	島根大学
児童福祉3	7号館	730教室
・児童養護施設における「問題」の変遷に関する探索的研究－東京都・児童養護施設における10年間の二次分析から－	永野 咲	日本子ども家庭総合研究所・東洋大学大学院
・児童養護施設における「子どもの権利」の到来と葛藤 －大阪府『子どもの権利ノート』に焦点をあてて－	長瀬 正子	常磐会短期大学
・親子と学校との対立事例における構造と第三者機関関与のメリット －埼玉県子どもの権利擁護委員会の活動をとおして－	中谷 茂一	聖学院大学
・児童養護施設における支援方法の類型と子どものタイプの関係	大原 天青	上智大学大学院
・児童養護施設での生活過程からみる退所後の生活の規定要因の分析 －生活の連続性に着目して－	谷口 由希子	日本福祉大学大学院
児童福祉4	7号館	731教室
・児童館における子育て支援のグループ活動に関する調査 －子育て支援のグループ活動の方法を中心に－	八重樫 牧子	川崎医療福祉大学
・児童健全育成活動における母親クラブの役割	植木 信一	新潟県立大学
・障害児に対する家族的役割と地域生活支援－保護者による質問調査からの基本的問題推考－	小崎 浩信	東北福祉大学
・「気になる子育て家庭」調査結果における子育て支援者の属性にみる特徴 －大阪府「親と子のあゆみ育むプロジェクト」研究調査より－	近棟 健二	種智院大学
・学齢期子育て支援講座のアウトリーチ型プログラムの評価に関する研究	倉石 哲也	武庫川女子大学
児童福祉5	7号館	732教室
・アメリカにおけるスクールソーシャルワーク研究の新たな展開 －メゾ・マクロレベルの変革への着目－	厨子 健一	大阪府立大学大学院

・スウェーデンの学童保育の動向を見るー『子どもの自由時間は重要である』ー	小暮	健一	NPO 法人所沢市学童クラブの会
・外国につながる子どもの保育をめぐる課題	塚本	さやか	聖徳大学大学院
・小児がんサバイバーにとってのセルフヘルプ・グループ参加の意味	平澤	一郎	長岡情報ビジネス専門学校 こども医療保育科
・規制緩和による保育の質の変化に関する研究ー保育士と子どものやりとりの中からー	本間	英治	日本福祉大学

障害(児)者福祉3	7号館	733 教室	
・障害者の就労に関する意識の分析ー障害者就労支援事業における利用者アンケート調査ー	高原	優美子	国立精神・神経神経医療研究センター
・障害者の所得保障に向けた福祉的就労の現状ーI県における就労継続支援A型事業所の調査からー	湊	直司	宮古圏域障害者支援センター
・就労継続支援A型事業所における従業員を対象とした人材育成の現状ー社会福祉法人カナンの園カナン牧場(岩手県一戸町)を事例にー	熊谷	智義	榊邑計画事務所
・障害者のエンパワメントを目的としたグループワークの考察ー職業リハビリテーションセンター、就労移行支援事業所での実践を事例としてー	梁	陽日	立命館大学大学院
・特別支援学校における就労支援ー特別支援学校のキャリア教育の事例をととしてー	塩田	公子	元東京医療保健大学

障害(児)者福祉4	7号館	734 教室	
・精神保健福祉領域のソーシャルワーク関係に関する実証研究ー「自己規定」「対象者観」「関係性」「実践行為」の関連ー	大谷	京子	日本福祉大学
・精神障害をもつ当事者によって生み出された支援ツールの開発過程およびその背景ー北米における Emotional CPR および OPDI Peer Support Toolkit を例としてー	松田	博幸	大阪府立大学
・ホームヘルパー養成講習を修了した精神障がい者の就業状況および講習の効果評価に関する調査研究	清水	由香	大阪市立大学
・精神障害者を支える者としての家族ー保護者制度を中心とする家族規定改正に関する議論の検討ー	風間	朋子	立正大学
・合理的配慮の効果的運用における精神障害者の特性への配慮ー裁判記録レビューからの考察ー	山村	りつ	同志社大学大学院

障害(児)者福祉5	7号館	735 教室	
・障害者の日常・経済活動調査」にみる肢体不自由者の生活実態ー障害者団体への質問紙調査よりー	田中	恵美子	東京家政大学
・強度行動障害にも対応した自閉症の都市における生活支援と住まいのあり方ー強度行動障害・自閉症を対象とした都市型入所施設の役割、機能を検討するー	楯	雅博	総合福祉センター弘済学園
・強度行動障害者とその家族のニーズに関する一考察	勝井	陽子	福岡医療福祉大学
・福祉の支援を必要とする矯正施設を退所した知的障害者の地域生活移行に向けて	小林	隆裕	(独)国立重度知的障害者総合施設のぞみの園
・聴覚障害児を持つ聴者両親のろう学校選択経過における一考察ー期待をこめたらう学校転入決断へー聴者両親の意識変化ー	玉井	智子	松山大学

高齢者保健福祉3	7号館	720 教室	
・高齢者福祉と住宅政策について	板東	一仁	秋田看護福祉大学
・高齢者対応住宅に住みかえた高齢者世帯の居住継続意向に関する研究ーA高齢者向け優良賃貸住宅居住者を対象とした調査よりー	岡部	真智子	日本福祉大学
・在宅高齢者の福祉と医療の連携についてーチームアプローチを促進するためにー	大塚	理加	国立長寿医療研究センター
・エイジング・イン・プレイス(地域居住)視点から見たシルバーハウジングー住人の主観的幸福感に影響を与える要因についての実証的研究ー	松岡	洋子	東京家政大学

・高齢者の居場所としての軽費老人ホーム－高齢者間および高齢者と職員との相互関係に着目して－	堀井 真美子	国際医療福祉大学大学院
高齢者保健福祉4	7号館	721 教室
・高齢者虐待へのチームアプローチに関する課題についての考察 －虐待事例への介入、「虐待」の用法への志向を通して－	坂本 陽亮	首都大学東京 大学院
・高齢者虐待における「先を読む援助」－介護支援専門員ごとに異なる視点からの検討－	小島 佳子	日本福祉大学大学院
・調停・審判事例にみられる高齢者の経済的虐待－早期発見・予防のプロセスとメカニズムの解明－	山田 みどり	在宅福祉センターせと
・高齢者虐待対応機関の機能に関する日本と韓国の比較－モデル事例を通じて－	金 東善	東洋大学大学院
・介護殺人事件の実態と実体的解決に向けた施策の検討	湯原 悦子	日本福祉大学
高齢者保健福祉5	7号館	722 教室
・レジデンシャル・ソーシャルワークとケアマネジメントの業務実態について－特別養護老人ホームの生活相談員と居宅介護支援事業所の介護支援専門員を比較して－	石田 博嗣	日本ケアワーク研究会
・在宅要介護高齢者のニーズとケア資源に関する研究－小規模多機能型居宅介護の利用者に焦点をあてて－	藤井 佳子	
・訪問介護実践の過程に関する研究(その2) －訪問介護員が抱く自らへの「疑問・問い掛け」を焦点として－	隣谷 正範	松本短期大学
・介護支援専門員と共に行う包括的・継続的ケアマネジメント(3) －地域包括支援センターの主任介護支援専門員と居宅介護支援事業所の管理者に期待される機能と役割－	大口 達也	立教大学大学院
・介護支援専門員と共に行う包括的・継続的ケアマネジメント(4) －地域包括支援センターと居宅介護支援事業所の組織間協働のためのコーディネーション－	岸 千代	武蔵野赤十字病院
女性福祉・ジェンダー	7号館	714 教室
・性的人格権の社会権的側面の考察－振動性・脆弱性に着目して－	片居木 英人	十文字学園女子大学
・韓国における地域児童センター実践とリーダーシップ－フェミニスト・ソーシャルワークの視点－	前田 美也子	武庫川女子大学
・DV被害当事者の暮らし復興までのプロセスと支援課題	山口 佐和子	愛知県立大学
・DV被害者が暴力関係から「脱却」するプロセスおよびそこに作用する促進要因 －当事者へのインタビュー調査から－	増井 香名子	大阪府立大学
・DV被害者支援における加害現象の要因に関する研究	野坂 洋子	目白大学
地域福祉1	7号館	724 教室
・地域福祉に関する計画策定のための課題把握方法について－住民座談会および各種調査結果の活用の方について－	都築 光一	岩手県立大学
・地域福祉における住民参加と政治理論接合の可能性 －B.Barberの参加型政治論からの考察－	妻鹿 ふみ子	京都光華女子大学
・地域福祉の実効性を高める「地域社会」の捉え方 －「地域社会」と「生活問題」・「住民参加」－	江原 隆宜	日本福祉大学
・市町村合併が社会福祉協議会のローカル・ガバナンスにおよぼす影響に関する研究－日光市社会福祉協議会における調査をもとに－	加山 弾	東洋大学
・ネットワーク構築のための実践のプロセスに関する研究－社会福祉協議会のコミュニティワーカーに対するインタビュー調査をもとに－	南後 仁香	大阪市立大学大学院
地域福祉2	7号館	725 教室
・コミュニティソーシャルワークにおける予防的機能の考察 －2000年以降における諸説の比較検討を通して－	森 明人	東北福祉大学

・地域を基盤としたソーシャルワークと地域福祉の接点 ー「地域福祉援助」という概念の構築に向けてー	岩間 伸之	大阪市立大学大学院
・施設退所者の地域生活の実態と支援の方向性	黒岩 亮子	淑徳大学
・施設コンフリクトに及ぼす地域要因に関する一考察	野村 恭代	関西福祉科学大学
・福祉専門職による地域生活支援スキルの促進要因分析 ーコミュニティソーシャルワークの観点からー	菱沼 幹男	日本社会事業大学

NPO・ボランティア	7号館	738教室
・制度外サービスを実施する介護系NPOの6年間の変化ー2003年度及び2009年度全国実態調査の比較検討を通じてー	佐伯 幸雄	都城コンピュータ・福祉医療専門学校
・外国人集住地域における、交流の場作りについての考察ー「愛知県の多文化共生に関する県民意識調査」からー	尾崎 由利子	地域情報研究所(株)コムデザイン
・福祉系大学新入生の援助授与および要請行動に対する意欲の程度とそれに影響を与える諸要因の関連	荒川 裕美子	川崎医療福祉大学
・サード・セクターの自律性を支える政策的・制度的基盤としての協働政策 ー公的セクターとサード・セクターとの資金媒介関係の観点からー	原田 晃樹	立教大学
・生活困難な家庭の学習支援はなぜ大切か ー高校就学保障に至る経過を中心にー	宮武 正明	こども宝仙教育大学

国際社会福祉1	7号館	723教室
・異文化を背景に持つ子どもたちのDV被害に関する考察ー外国人母とともにDVから避難した子どもたちへの支援を中心にー	寺田 貴美代	新潟医療福祉大学
・スウェーデンの認知症高齢者介護における家族介護者とその支援	久保 恵理子	大阪大学大学院
・1960年代の社会福祉領域における社会開発の議論に関する研究 ー議論の経緯と我が国における生活改良普及員の活動における一考察ー	倉持 香苗	関西福祉科学大学
・東南アジアにおける児童養護施設の現状と課題ーマレーシアとフィリピンとの比較を通じてー	白石 雅紀	秋田看護福祉大学
・経済成長期におけるベトナム地方障害者福祉施策の現状と課題 ー障害者の地域実態調査と障害者福祉施策検討に即してー	森澤 允清	高知県立女子大学大学院

国際社会福祉2	7号館	727教室
・EPAに基づく外国人介護福祉士候補者受入れ施設・法人の実態(1) ー施設・法人の実態を中心にー	稲葉 宏	日本社会事業大学
・EPAに基づく外国人介護福祉士候補者受入れ施設・法人の実態(2) ーアンケート・聞き取り調査を中心にー	植村 英晴	日本社会事業大学
・中国における福祉専門職の養成教育の現状に関する研究	兪 秀娟	大阪市立大学大学院
・職場資源と要求ーナースィングホームで働くナースィングアシスタント(CNA)の職務満足と離職行動に与える影響ー	料所 奈津子	発表辞退
・外国人労働者の労働災害に関する研究ー労働安全衛生センターの相談記録調査からー	伊藤 正子	法政大学

国際社会福祉3	15号館	1513教室
・障害老人の日常生活満足度に対する性別比較	Song Mi Young	忠清南道女性政策開発院社会福祉チーム
・韓国における住民参加福祉ネットワークに対する質的研究	林 晁淵	SeJong Cyber University
・長期療養保護高齢者に対する権利擁護システムの比較研究	Lee Seo Young	ソウルサイバー大学
・ケアワーカーの職務満足度に影響を与える 要因についての研究 ー韓国.日本 比較を中心にー	Kang, Gayoung	昌信大学

所得保障・公的扶助1	15号館	1511教室
・野宿生活者「自立支援」におけるソーシャルワーク支援モデルの構築に向けて	黒川 京子	日本社会事業大学
・ワーキングプア化する生活保護「自立」世帯	桜井 啓太	堺市役所
・「貧困ビジネス」に対する行政機関の関与についてー無料低額宿泊所を事例としてー	元田 宏樹	法政大学大学院
・公的扶助における就労支援の在り方 イギリスのニューディールにおける媒介的労働市場	谷 太一	大阪府立大学大学院
・ビッグイシュー販売者のニーズと特徴ービッグイシュー東京の販売者および利用者の調査を通してー	知念 奈美子	芦屋女子短期大学
医療保健・医療福祉1	7号館	737教室
・イギリス緩和ケア体制の動向	籾木 奈津子	上智大学大学院
・新潟県難病相談支援センターにおけるピアサポート研修の実践ー患者会が抱える悩みの明確化ー	隅田 好美	新潟大学大学院
・要介護状態にある HIV 陽性者を支える地域の社会資源・制度の課題ーエイズ拠点病院ソーシャルワーカーへの実態調査からー	清水 茂徳	東洋大学大学院
・エイズブロック・中核拠点病院医療ソーシャルワーカーによる地域 HIV 陽性者等支援に関する研究	山本 博之	東京福祉大学
・医療ソーシャルワーカーの援助過程における相互関係理論化の研究ーグランデット・セオリー・アプローチを用いた可視化への試みー	高柳 雅仁	日本福祉大学大学院
社会福祉教育・実習2	7号館	726教室
・実習施設における実習指導者によるスーパービジョン／実習指導に関する基礎的研究(その1)ー実習指導者に対する質問紙調査を基にー	山田 真由美	長崎純心大学
・実習施設における実習指導者によるスーパービジョン／実習指導に関する基礎的研究(その2)ー自由記述の分析を基にー	松永 公隆	長崎純心大学
・ソーシャルワークにおけるストレングス教育の現状と課題ー「相談援助」系科目担当教員へのヒアリング調査をつうじてー	山口 真里	広島国際大学
・新カリキュラム下における相談援助実習指導者要件の現況調査ー沖縄県内社会福祉施設に対するアンケート調査をもとにー	工藤 歩	沖縄大学
司法福祉・更正保護1	7号館	715教室
・高齢犯罪者・触法障害者への特別調整に関する研究	古川 隆司	追手門学院大学
・高齢犯罪者のリスクと対策ー「平成20年版犯罪白書 高齢犯罪者の実態と処遇」からの一考察ー	菅原 好秀	東北福祉大学
・高齢受刑者の社会復帰に向けた矯正現場とソーシャルワークの連携	江口 賀子	西九州大学
・高齢犯罪者の社会復帰に向けた支援に関する研究ー女性初発群を中心としてー	堀田 利恵	日本福祉大学大学院
・刑務所における福祉職の支援に関する研究ー社会復帰のために福祉職が取り組む支援の現状と課題ー	宮沢 和志	同朋大学

【自由研究発表C】 10月10日(日) 午後(14:00-16:30)

自由研究報告C 10月10日(日)

第1報告	14:00~14:25
第2報告	14:25~14:50
第3報告	14:50~15:15
第4報告	15:15~15:40
第5報告	15:40~16:05
全体討議	16:05~16:30

※下記の一覧の掲載順が、当日の報告の順番になります

理論2	8号館	810教室
・「当事者福祉論」の可能性－自死遺族支援を事例として－	岡 知史	上智大学
・自己実現概念の構築に関する研究	清重 哲男	日本ソーシャルワーク研究会
・介助する/介助されるということと「家族」という関係を考える	佐々木 剛生	東北福祉大学大学院
・依存状態というスティグマと社会サービスとの関係、およびその含意	谷本 幸也	大阪府立大学大学院
・AAメンバーの回復過程における「他者」の意味づけの変容とハイヤーパワーの意義	児島 亜紀子	大阪府立大学
歴史4	8号館	820教室
・岡山孤児院の里預制と里親地区の形成の考察－葛城村国ヶ原での里親の専門性とネットワーク形成を中心に－	菊池 義昭	東洋大学
・少年教護法のもとでの「学科」の実態について	佐々木 光郎	静岡英和学院大学
・小河滋次郎の児童保護思想形成における留岡幸助の影響について －明治30年以前を対象として－	益田 幸辰	東洋大学大学院
・昭和30年代の家庭養護婦派遣事業運営研究集会における組織化と展開 －研究内容と実践方法の検証	中嶋 洋	帝京平成大学
・乳幼児健診の起源と乳幼児保護事業の展開－大阪児童愛護連盟の「赤ん坊審査会」の展開と乳幼児保護運動－	和田 典子	近畿医療福祉大学
歴史5	15号館	1513教室
・政策概念としての精神保健福祉の形成 －「定義」規定の位相－	堀口 久五郎	文教大学
・精神病患者監護法下の「精神病患者」対策の検証 －内務省の「院外保護」構想分析－	宇都宮 みのり	金城学院大学
・明治初期における健康概念の形成過程－養生から健康へ－	倉石 一枝	
・第二次世界大戦前カナダ・オンタリオ州立「精神薄弱」者施設におけるコミュニティ復帰の指向	下司 優里	筑波大学大学院
・戦前期 浴風園史研究 2 －昭和初期における老年性精神病の2事例と処遇－	鳥羽 美香	文京学院大学
思想	8号館	823教室
・主題: 自他の尊重と充実を目的とした社会福祉 副題: 「関係自立論」の構築に向けて	植田 智也	静岡英和学院大学
・天理教教祖中山みきの福祉思想	松原 浩一郎	吉備国際大学
・賀川豊彦の社会福祉思想形成に関する一考察 －出生(1888年)からアメリカでの留学生活(1917年)まで－	李 善恵	同志社大学大学院

・リシリエンシー要素(resiliency factor)における保護要因(protective factor) ー 填補対象としてのセルフ・エフィカシーの考察ー	扇谷 秀樹	社会福祉法人山根会
・自立生活を送る身体障害者からみた「資格」の意味	山下 幸子	淑徳大学
制度・政策3	15号館	1512教室
・「平成の大合併」が市町村民生費に与えた影響 ー 岐阜県を事例としてー	大藪 元康	中部学院大学
・A県における「平成の市町村合併」と介護保険制度の動向	林 宏二	上越保健医療福祉専門学校
・新しい公共を創るための民間寄付システム活性化に関する調査研究(1)	寺田 誠	上智社会福祉専門学校
・新しい公共を創るための民間寄付システム活性化に関する調査研究(2)	田中 真衣	上智社会福祉専門学校
・介護保険費用の増加要因に関する自治体間比較研究ー利用者の出入りと継続利用者の変化に着目した分析枠組みの提示ー	奥田 佑子	日本福祉大学
方法・技術2	7号館	713教室
・専門職倫理のあり方に関する研究ーメゾの視点を通してー	金井 直子	日本福祉教育専門学校
・「社会福祉士の倫理綱領」に対する認識状況に関する研究 ー「利用者に対する倫理責任」に焦点をあててー	山下 浩紀	専門学校日本福祉学院
・自殺相談における社会福祉士の役割についての一考察 ー富山市保健所における自殺相談をもとにー	中島 眞由美	富山市保健所
・子どものうつと問題行動への支援ー教師への心理教育を通してー	周防 美智子	帝塚山大学
・アセスメント対象としてのクライアント・ペット関係の重要性と、援助者自身のペットとの愛着関係がクライアント・ペット関係のアセスメントに及ぼす影響ー米国の場合ー	佐藤 亜樹	University of Connecticut
方法・技術3	7号館	714教室
・援助者と利用者との関係から創造される役割ー認知症高齢者とともに生きること「役割創造」ー	井上 敦	淑徳大学大学院
・レジデンシャル・ソーシャルワーク専門職性評価指標の開発	武田 加代子	天理大学
・大学におけるケアマネジメント教育の効果に関する研究 ー過去5年間におけるケアマネジメント演習前後のアンケート調査からー	二本柳 寛	日本福祉大学
・End of Life Care 実践支援ツールを活用したソーシャルワーク実践に関する研究	松久 宗丙	中部学院大学大学院
・医療ソーシャルワーカーの実践能力獲得過程ー新人期から中堅期に至るプロセスの質的分析ー	保正 友子	立正大学
児童福祉6	7号館	730教室
・児童虐待防止ネットワークにおけるメンタルヘルス問題のある親への支援 ーX町における活動事例とその支援者へのグループインタビュー調査を通してー	松宮 透高	川崎医療福祉大学
・子ども虐待対応における市町村の専門性に関する調査研究ー市町村における課題の現状と児童相談所の支援ー	土橋 俊彦	神奈川県中央児童相談所
・子どものマルトリートメント対応における Differential Response 導入経過の分析 歴史的経緯と協働型サービス導入の背景と動向に焦点をあてて	有村 大士	日本子ども家庭総合研究所
・英国児童虐待防止研究 その19ー労働党政権における児童福祉/虐待防止政策のソーシャルワークへの影響と変化ー	田辺 泰美	園田学園女子大学
・英国のファミリーグループ・カンファレンスにおける専門アドボケイトの役割・効果・課題	柴留 里美	
児童福祉7	7号館	731教室
・里親委託と施設委託の関係の長期的動態 ー1953-2008年の時系列データの分析からー	三輪 清子	首都大学東京大学院

・乳児院から里親への措置変更の進め方 ー施設職員と里親からの聞き取りの事例からー	森本 美絵	京都橘大学
・家族再統合に向けた里親の実践内容とその意義 ー里親の語りから見た縦断的事例調査からー	野澤 正子	千里金蘭大学
・里親のコンピテンス形成と評価に関する調査研究	庄司 順一	青山学院大学
・諸外国における親族里親の評価と日本への示唆	林 浩康	日本女子大学

家族福祉	7号館	738教室
・デイサービス利用者を介護する家族介護者の介護負担感に關与する要因の検討	豊村 和真	北星学園大学
・求められる多胎育児支援とはー養育者へのインタビューからの探索的検討ー	越智 祐子	同志社女子大学
・女性の就労と育児に関する意識調査のー考察ー ー日本・イギリスの大学生の性別役割意識とライフスタイル選択の傾向性についてー	米山 珠里	弘前学院大学
・周産期医療を組み込んだ子育て支援をめぐる研究の動向と課題 ー子育てハイリスク群支援ネットワーク構築に向けてー	井上 寿美	関西福祉大学
・子育て支援講座における受講者の講座終了後の振り返りからみた講座の意味 ー受講者同窓会におけるアンケート結果からのー考察ー	中島 尚美	関西学院大学
障害(児)者福祉6	7号館	732教室
・障害を持つ人々の権利侵害と支援者を取り巻く環境ーA県内の知的障害者施設における支援者の視点からみた実態把握ー	増田 公香	聖学院大学
・障害のある人たちへの身体拘束防止に関する現状把握と対策に関する研究 ー京都府内における障害児・者支援事業所へのアンケート調査を中心にー	谷口 明広	愛知淑徳大学
・知的障害者が安心・安全に地域で暮らし続けるための支援と仕組みづくり ー障害者相談支援専門員等を対象とした聞き取り調査からー	植戸 貴子	神戸女子大学
・知的障害者施設における介入行為の問題点と課題	大塚 良一	武蔵野短期大学
・ユニバーサルデザイン施設における障害当事者性ー障害者用駐車場の利用者間コンフリクトの問題構造とその解決のあり方に関する研究ー	八木 三郎	天理大学
障害(児)者福祉7	7号館	733教室
・障害者施設職員の労働状況とメンタルヘルス対策	大岡 由佳	武庫川女子大学
・社会福祉サービスのモジュール化と障害者自立支援法	安田 三江子	花園大学
・「個別支援計画」による支援手法の確立に関する研究	武田 康晴	華頂短期大学
・知的障害者のデス・エデュケーション構築への試みー実践の思想的背景を探るー	石野 美也子	京都文教短期大学
・医療観察法におけるソーシャルワークの研究	東 公美	同志社大学
障害(児)者福祉8	7号館	734教室
・障害者自立支援給付分析からみた「地域移行」の現状ーA県における試行事業より	佐藤 真澄	日本福祉大学
・知的障害者入所施設における地域生活移行支援の過程ー関東甲信越地方8施設のインタビュー調査の結果からー	相馬 大祐	国立重度知的障害者総合施設のぞみの園
・知的障害者グループホーム利用者の家計収支分析ー地域生活を可能にするための就労行動に着目してー	大村 美保	東洋大学大学院
・知的障害者入所施設からの地域生活移行が移行者に及ぼす影響に関する研究	森地 徹	国立のぞみの園
・特別支援学校に通う児童の地域生活支援に関する研究ー教員・保護者・児童福祉サービス事業者への質問紙調査による検討ー	阿部 利江	東北福祉大学

障害(児)者福祉9	7号館	735教室
・グループホーム従事者によるコンピテンス評価ー一人暮らしのニーズを持つ知的障害者への阻害要因分析からー	寺島 正博	昭和女子大学大学院
・障害者の自立生活を支える介助サービスとは「役割への支援」に着目してー	重野 愛佳	自立生活センター・日野
・障害者自立支援法が見過しているものー重症心身障害児・者の親に対するアンケート調査結果からー	新道 由記子	園田学園女子大学
・重度知的障害者の行動範囲に関する研究ー自宅で生活する事例を基にー	綱川 克宜	日本福祉大学大学院
・知的障害を伴う自閉症者の母親の「ディスアビリティ体験」に関する研究ー母親のライフ・ヒストリー分析を通してー	水山 えみ	関西学院大学大学院
高齢者保健福祉6	7号館	720教室
・高齢期における生活困窮の実態ー高齢者が直面する生活課題と原因ー	西垣 千春	神戸学院大学
・高齢者世帯の家計収支構造と生活の社会化に伴う新家計支出の発生状況	伊藤 純	昭和女子大学
・中山間と大都市における一人暮らし高齢者の社会的孤立の特性	斉藤 雅茂	日本福祉大学
・ムーブメント療法を用いた高齢者のQOL向上についての実証的研究ー精神健康度の検討ー	金川 朋子	大阪教育大学附属特別支援学校
・要介護在日コリアン高齢者の精神的健康とその関連要因	金 銀静	大阪市立大学大学院
高齢者保健福祉7	7号館	721教室
・施設介護職員のバーンアウト因果モデル	李 泰俊	早稲田大学大学院
・通所介護事業所における介護職員の離職率に関する研究ー離職率が低い事業所のマネジャーの対応と施設内マネジメントー	原田 亘	日本福祉大学大学院
・特別養護老人ホームに勤務する介護職員の腰痛対策ー施設マネジメントの視点からの取り組みー	植田 大雅	社会福祉法人共生会東四ツ木ほほえみの里
・介護支援専門員の主観的困難ケースの累積につながる要因検討ー介護支援専門員の業務上の困難感と基本属性を中心にー	斐 孝承	大阪市立大学大学院
・訪問介護のサービス提供責任者の業務ストレスとバーンアウト:訪問介護計画が質の向上に役立つという意識(有効感)のストレス緩衝効果	須加 美明	目白大学
高齢者保健福祉8	7号館	722教室
・ベトナム高齢者福祉施設における介護職員の社会意識と職務意識の構造ー人口構造・社会構造からみた高齢者対策としての専門教育の展望ー	後藤 美恵子	東北福祉大学
・在日フィリピン人介護士の現状と課題	後藤 由美子	高知女子大学
・家族介護とうつ、死亡・要介護状態発生との関連ー大規模調査データを用いての再検討ー	平松 誠	名古屋医専
・韓国の家族介護者における肯定的介護認識に関する研究ー「同居家族療養制度」に焦点をあててー	張 英信	ルーテル学院大学大学院
・居宅サービス計画書の説明と同意に関する家族介護者の意識に関する研究	渡邊 浩文	認知症介護研究・研修東京センター
地域福祉3	7号館	723教室
・住民ニーズに沿ったネットワーク構築の可能性ー赤穂市における地域福祉の意識に関するアンケート調査からー	藤原 慶二	関西福祉大学
・「社会的孤立」への地域福祉活動の可能性と限界ーA市における地域福祉実態調査の結果を中心にー	湯川 順子	京都YMCA国際福祉専門学校
・一人暮らし高齢者が地域住民とのソーシャル・ネットワークを構築する過程	林 孝之	札幌市厚別区介護予防センターもみじ
・熊本県A町の在宅高齢者の生活状況に関する調査報告(1)ー調査項目間クロス集計分析とカイニ乗検定からみえるものー	姫野 建二	九州看護福祉大学

- ・熊本県 A 町の在宅高齢者の生活状況に関する調査報告(2)
ー調査項目間クロス集計分析とカイニ乗検定からの施策の方向性ー

西島 衛治 九州看護福祉大学

地域福祉4	7号館	724教室
・十島村における地域福祉システムの構築ー平島での住民調査からー	高橋 信行	鹿児島国際大学
・居宅サービス利用指数の保険者別推移と指数「高」の保険者の地域ケアシステムに関する一考察	長倉 真寿美	大正大学
・市町村社会福祉協議会による認知症高齢者の家族介護者支援活動の現状と課題 ー兵庫県内市町村協への調査をもとにー	金 圓景	日本福祉大学
・集合住宅における住民の多世代関係のつながり サロン活動の事例をもとに	茂 大祐	日本福祉大学
地域福祉5	7号館	725教室
・身体障害者の外食における阻害要因に関する研究(1)	岩満 賢次	聖カタリナ大学
・身体障害者の外食における阻害要因に関する研究(2) ー外食時における人的資源確保の視点からー	恒吉 和徳	聖カタリナ大学
・保育の非カリキュラム活動における「二重の自由度」と「三機能」→「外国人コミュニティ」における「二重の制約」と非カリキュラム活動の「三機能」	駒井 美智子	東京福祉大学
・地域社会の文化に根付いたデイサービスの在り方	竹添 展	龍谷大学大学院
・ライフラインを支える移動支援の確保についてー地域生活インフラを支える流通のあり方研究会報告書にみる課題ー	横山 順一	山口福祉文化大学東京サテライト
国際社会福祉4	7号館	727教室
・ニュージーランドのソーシャルワーク教育における利用者理解のあり方 ー自らの経験からの振り返りを通してー	多田 千治	鴻池生活科学専門学校
・イギリスの高齢者ケア政策ーコミュニティケア改革のその後・A市の事例を通じてー	正野 良幸	同朋大学
・モンゴルにおける市場移行後の貧困問題とその要因	ALZAKH GUI	DELGERMA A 東京大学大学院
・中国都市部の社区活動の推進における行政・NPO・住民自治組織の役割 ー北京市大興区清源街道の実践を通じてー	羅 佳	日本福祉大学大学院
・カンボジア農村の脆弱世帯にみる貧困脱却の可能性ー持続的コミュニティケアと主体性の獲得への道ー	島崎 裕子	早稲田大学
所得保障・公的扶助2	15号館	1511教室
・学校における社会福祉的アプローチー生活保護世帯に対する教育的支援の「場」についての考察ー	櫻 幸恵	岩手県立大学
・生活保護受給母子世帯の自立支援プログラム開発(その3)ー事例分析による千葉県 A 市版支援ツールの効果検証ー	久保田 純	横浜市中区役所中福祉保健センター
・母子世帯への支援ネットワークの形成	田中 聡子	県立広島大学
・生活保護受給世帯の子どもの生活実態ー被保護世帯の子どもアンケートに基づいてー	長沼 葉月	首都大学東京
・ニューヨークにおける福祉改革と受給者の暮らしー母子世帯を中心としてー	世利 直子	一橋大学大学院
医療保健・医療福祉2	7号館	737教室
・療養型病院・施設への転院阻害要因がおよぼす影響の質的調査	林 祐介	日本福祉大学大学院
・がんターミナルケアにおける医療ソーシャルワーク実践の実証的研究	片岡 靖子	久留米大学
・研究協力者との相互作用による研究倫理の確立 ーHIV感染者への質的研究における経験よりー	山中 京子	大阪府立大学

・薬物使用障害当事者家族への心理教育に基づく実践モデルとその評価	西川	京子	新阿武山クリニック
・高次脳機能障害者のニーズに即した支援の在り方に関する研究 －M-GTAを用いた分析を通して－	湯浅	弥	日本福祉大学大学院

社会福祉教育・実習3	7号館	726教室	
・「地域福祉型」実習を超えた地域を基盤とした社会福祉士実習－日本社会事業大学版「地域型」実習の意義と課題－	高橋	流里子	日本社会事業大学
・社会福祉援助技術現場実習における「長期実習プログラム」の試み －学生アンケートを通して効果と課題を明らかにする－	阪田	憲二郎	神戸学院大学
・多文化社会に対応したソーシャルワーク教育および実習 社会福祉士養成教育の発展にむけて	添田	正揮	日本社会事業大学
・ソーシャルワークの価値を具現化する演習プログラムの検討－先行研究レビューを通して－	梅野	潤子	徳山大学

司法福祉・更正保護2	7号館	715教室	
・犯罪被害者遺族による講演・啓発活動を支えるソーシャルサポート －地域の被害者支援団体を事例として－	滝口	涼子	上智大学大学院
・救護施設における触法障害者の実態と支援の課題	佐々木	明員	北海道医療大学
・被虐待の子ども非行化への対応に関する研究－非行事例の司法福祉的視点による分析－	藤原	正範	鈴鹿医療科学大学
・韓国における青少年犯罪の「凶悪化」と「低年齢化」－時代別分析を手掛かりにした触法少年の年齢引き下げの再考察－	張	善敬	東京大学大学院
・犯罪と社会福祉・社会保障との関係について(第1報)	片平	冽彦	新潟医療福祉大学大学院

【ポスター発表A】 10月10日(日) 午前(9:30-12:30)

9号館 910教室

高齢者保健福祉、医療保健・医療福祉、地域福祉、国際社会福祉、所得保障・公的扶助、産業福祉・労働福祉、歴史

- | | | |
|--|---------|--------------------|
| ・グループホーム職員の看取りに対する意識 | 塩谷 久子 | 広島国際大学 |
| ・首都圏高齢者が外出時に利用する交通手段の選択について | 深谷 太郎 | 東京都健康長寿医療センター |
| ・虐待者と被虐待者の関係性～母親への経済的搾取が認められる息子の事例から～ | 児玉 寛子 | 東京都健康長寿医療センター |
| ・中高年者の主観的健康感と関連要因 ー地方都市シニア大学受講者を対象としてー | 村山 くみ | 東北福祉大学 |
| ・社会福祉士に必要とされている価値観に関する研究 | 勅使河原 隆行 | 千葉商科大学 |
| ・介護支援専門員の困難事例に対する援助意識の実態 | 工藤 英明 | 秋田看護福祉大学 |
| ・安心して「息をひきとる」ことができる老人ホーム ー施設の“みとり”と“おくり”ー | 大西 次郎 | 武庫川女子大学 |
| ・高齢者虐待事例における「未婚の同居の息子」の特徴 | 水上 然 | 大阪府立大学大学院 |
| ・医療費未払いの解決に向けた介入 | 大屋 純子 | 社会福祉法人恩賜財団済生会みすみ病院 |
| ・急性期リハビリテーション医療におけるMSWが関わる患者の特徴
ーリハビリテーション患者データベースのデータを用いてー | 鄭 丞媛 | 日本福祉大学 |
| ・小児がん患児に対するソーシャルワーカーによる支援の現状と課題
ー教育支援をはじめとする心理社会的支援ー | 川勾 亜紀奈 | 函館大学 |
| ・統合失調症のある人の家族支援
ー「二度と相談しない」と思うに至ったプロセスー | 佐伯 佳子 | 日本福祉大学大学院 |
| ・中山間地域市と大都市のなかの過疎地域におけるインフォーマル・セクターによる「ささえあい」の役割分担の条件についてー歌志内市(北海道)ともみじ台地区(札幌市厚別区)におけるコミュニティワーク実習・生活福祉アンケート結果からー | 岡田 直人 | 北星学園大学 |
| ・住民組織の活動に対する住民の態度について | 岡村 綾子 | 金城大学 |
| ・市町村の「地域福祉計画」のカテゴリ別分類ー福祉サービス事業に焦点をあててー | 水主 千鶴子 | 和歌山県立医科大学 |
| ・姫路市における地域包括支援センターに対する第三者評価事業の試み
ー地域連携およびネットワークづくりの実践からー | 武田 英樹 | 近畿大学豊岡短期大学 |
| ・児童自身のもつ地域のとらえ方を基盤とした福祉教育 | 岡正 寛子 | 川崎医療福祉大学大学院 |
| ・男性家族介護者のソーシャル・キャピタルに対するアクセスに関する研究 | 河本 秀樹 | 城西国際大学大学院 |
| ・姫路市における地域包括支援センターに対する第三者評価事業の試み
ー評価項目の作成を中心にー | 藤田 益伸 | 姫路市介護サービス第三者評価機構 |
| ・高齢者を「支え合う」地域見守り活動の課題
ーフォーマルネットワークとインフォーマルネットワークの再構築ー | 斉藤 千鶴 | 関西福祉科学大学 |
| ・脱官製地域福祉:コミュニティワークとしての新しい試み
ー北米における実践例の紹介ー | 根津 敦 | 富山福祉短期大学 |
| ・介護専門職の就労促進に資する国際基準および養成プログラムの開発 | 石田 路子 | 城西国際大学 |
| ・高齢者雇用における公的支援について
ー労働力需要における助成施策を中心にー | 萱沼 美香 | 九州産業大学 |
| ・私的年金の制度類型ー公的年金制度との関係からー | 鎮目 真人 | 立命館大学 |
| ・生活保護ケースワーカーの対人援助業務に対する意欲と負担感に関する研究
追跡調査結果を中心として | 高井 由起子 | 関西学院大学 |
| ・社会事業期におけるケースワーク導入に関する一考察
ー方面委員の実践活動との関わりに焦点づけてー | 岩本 華子 | 関西福祉科学大学 |

【ポスター発表B】 10月10日(日) 午後(14:00-16:30)

9号館 910教室

障害(児)者福祉、児童福祉、家族福祉、女性福祉・ジェンダー、方法・技術、社会福祉実習・教育

- ・養子であることを理解するプロセスと家族への支援
ー就学始期までの2年間にわたる真実告知の記録からー 森 和子 文京学院大学
- ・地域における子育て支援コーディネーターの業務内容と役割の検討について 中川 千恵美 大阪人間科学大学
- ・日本におけるホスピタル・プレイ・スペシャリスト養成プログラムの開発 松平 千佳 静岡県立大学
- ・わが国の里親支援に関する一考察
ーA県における里親家庭への訪問支援を通してー 山口 敬子 京都府立大学大学院
- ・米国弁護士会 DV 委員会の DV 問題への取り組みと職員教育に関する研究
ーインタビュー調査を基にー 今村 利香 鹿児島大学
- ・接触体験と「怖さ」に関する意識の分析
ー『こころの病』をもつ人へのスティグマ及びまなざしに関する調査研究ー 坂野 純子 岡山県立大学
- ・発達障害者を対象とした相談支援事業のあり方に関する研究 I
ー発達障害版相談支援事業振り返りシートの作成を中心にー 加瀬 進 東京学芸大学
- ・重度障害者用意思伝達装置の利用支援体制のあり方について
ー利用実態調査から見えてきた課題ー 井村 保 中部学院大学
- ・精神疾患に際する相談行動に関する意識の分析ー「こころの病」をもつ人へのス
ティグマ及びまなざしに関する全国調査からー 菊澤 佐江子 法政大学
- ・シンガポール共和国における障害児教育・福祉の変容について
ー国際的な障害者の権利擁護と政府の就学待機児数の公表ー 那須野 三津子 東京成徳大学
- ・障害者福祉における知的障害者支援のオリジナリティの探索 古井 克憲 和歌山大学
- ・障害のある人の健康増進支援のあり方に関する研究ー福祉施設管理者および
行政機関に対する聞き取り調査結果ー 千葉 伸彦 東北福祉大学
- ・「知的障害者の自立を支える支援・制度・政策の関係について
ーカナダマニトバ州の取り組みからー」 木口 恵美子 東洋大学大学院
- ・身体障害者施設における地域交流ー児童館・保育園児への影絵公演をとおしてー 柳沢 君夫 弥生福祉作業所
- ・精神障がい者家族会の活動に関する報告ー都道府県精神障がい者家族会連
合会へのアンケート調査の分析を通してー 伊藤 千尋 法政大学
- ・福祉分野における横断的なアウトカム指標研究
ー主観的 QOL 尺度の作成と信頼性・妥当性の検討ー 吉田 光爾 国立精神・神経医療
研究センター
- ・トウレット症候群患者の Life satisfaction に関連する要因
ー思春期後期以降の患者を対象としてー 横山 由香里 東京大学大学院
- ・グループワーク教授法の再考ー学生主体の映画製作グループの試作ー 川村 隆彦 神奈川県立保健福祉
大学
- ・岩手式・ホスピスボランティア養成モデル構築に向けて
ー相互学習型ワークショップによる実践からー 山本 克彦 岩手県立大学
- ・ソーシャルワーカーの自殺に対する態度とその影響因子に関する探索的研究 小高 真美 独立行政法人国立精神・
神経医療研究センター
精神保健研究所
- ・世話人の言葉と援助が出会う風景
ー精神障害者をケアしている障害者グループホームの世話人調査を通じてー 宮本 秀樹 常磐大学
- ・日本・中国・韓国のソーシャルワーカー養成カリキュラムに関する比較検討
ーアジアにおけるソーシャルワーク教育の標準化に向けてー 木戸 宜子 日本社会事業大学
- ・社会福祉士の生涯研修に関する研究
ー大学院でのリカレント教育による自己研鑽のプロセスに着目してー 横山 豊治 新潟医療福祉大学
- ・知識偏重を超えたソーシャルワーク教育への提言
ー学生を主役とした教授法への試作ー 矢野 明宏 東日本国際大学
- ・福祉系初年次学生の学習姿勢による学習ニーズの検討 小関 久恵 東北公益文科大学
- ・社会福祉系学部及び学科における新入生の学習及び生活体験と表象との関連
ー「社会福祉」から連想するキーワードの分類からー 宮本 雅央 秋田看護福祉大学

【特定課題セッション】 10月10日(日) (9:30-16:30)

A. 9:30~12:00**I : 社会福祉の『境界線』を問い直す 坪洋一氏 (日本女子大学) 会場: 3号館 310**

障害福祉と国際開発協力の接点: 国際権利条約32条のインパクト	国連NY本部 長田こずえ
社会福祉における公的保障システムと私的契約システムの境界について考える	田園調布学園大学 金井守
社会政策と社会福祉の境界域	大阪産業大学 木村敦
社会福祉における「境界線」の相互浸透と相補性に関する考察	川崎医療福祉大学 直島克樹

II : 社会福祉における専門職ネットワーク研究の現状と課題 石川久展氏 (関西学院大学) 会場: 4号館 410

社会福祉における専門職ネットワーク概念の背景と理論的課題	関西学院大学 松岡克尚
ケアマネジメント技術としてのネットワーク構築方法とその効果に関する実践的研究	尾北医師会高藤真弓
社会福祉における専門職ネットワーク研究の現状と課題	四天王寺大学 逢坂隆子
市町村児童虐待防止ネットワークを機能させるマネジメントプロセス	大阪府立大学 山野則子

III : 社会福祉関係職の養成教育、およびその研究内容と方法における課題と展望

川廷宗之氏 (大妻女子大学)

会場: 5号館 510

社会福祉専門職養成教育研究の動静および今後の課題	名古屋学院大学 山下匡将
福祉系高校から福祉系大学への接続	日本福祉大学 岡多枝子
社会福祉専門職養成教育における教養教育の意義	北海道医療大学 志水幸
社会福祉教育における教育評価の方法と課題	天理大学 南彩子

B. 14:00~16:30**IV : ソーシャルワーク実践における倫理的ジレンマ 松山真氏 (立教大学) 会場: 3号館 310**

対人支援における「主体」であることの意味	吉備国際大学 岡崎幸友
倫理的ジレンマのソーシャルワーカーに与える影響	三国丘病院 東照己
ソーシャルワーカーの「ジレンマ」	介護老人保健施設太郎 本多勇

V : 障害をもつ子どものケアと家族役割 藤原里佐氏 (北星学園大学短期大学部) 会場: 4号館 410

脱家族をめぐる社会的説明を再考する	筑波大学 堀智久
障がい児を養育する母親の健康問題に関する検討	桜美林大学健康心理・福祉研究所 辻本すみ子
障害のある乳幼児をもつ母親の変容プロセス	洗足こども短期大学 一瀬早百合
障害のある子どもの家族の感情表出研究から考える家族支援のあり方	関西福祉大学 米倉裕希子

【国際学術シンポジウム】 10月10日(日) (15:50-17:45)

【国際学術シンポジウム】

総合テーマ:「福祉サービスのデリバリーシステムとソーシャルワーク」

サブテーマ:高齢者ケアサービスの運営と評価システムの国際比較研究

《シンポジスト》

日本:「ベンチマークによるケアの質評価システム開発の試み」

近藤 克則 氏(日本福祉大学教授)

「日本における高齢者介護サービスのデリバリー・システムとソーシャルワーク
の役割・機能」

和気 純子 氏(首都大学東京准教授)

韓国:「韓国における公的老人長期療養サービス伝達および評価体系の現況
および今後の改善方向」

鮮于憲 氏(Sunwoo Duk)(韓国保健社会研究員 研究委員)

「老人長期療養サービス伝達システムとサービス人材管理の課題と発展方案」

石才恩 氏(Suk Jae Eun)(翰林大学校 社会福祉学部 副教授)

台湾:「台湾における高齢者介護サービスの運営と評価システム」

莊秀美 氏(東呉大学ソーシャルワーク学科教授)

趙碧華 氏(東呉大学ソーシャルワーク学科長)

コーディネーター:野口 定久 氏(日本福祉大学教授)